



町田市長 石阪丈一

平成26年（2014年）第2回市議会定例会が開会され、石阪市長は6月3日の本会議で施政方針を表明しました。

ここでは、その概要を掲載します。全文は町田市ホームページでご覧いただけます。

問企画政策課 ☎724・2103 FAX050・3085・3082

平成26年度（2014年度）施政方針

未来への種まき



2014年5月3日～5日に実施した「町田シバヒロ」のオープニングイベント

2014年度の重要な取り組み

「未来づくりプロジェクト」

市の長期計画がスタートして3年目となる今年度は、それぞれのプロジェクトを具体化していきます。

それぞれのプロジェクトの名称は簡略化してお話させていただきますのでご了承下さい。

「地域社会づくりのプロジェクト」では、地域で活躍している各種団体が相互に連携

2014年度的主要な施策

将来を担う人が育つまちをつくる

今年度は、子育て世代から選ばれるまちを目指した新たな施策を展開することにより、町田市にとって子育て政策の元年とも言えるべき年にしたいと考えております。

「子どもの足で通える場所に子どもの施設が少なく」と



開進幼稚園付属開進こども園(幼保連携型認定こども園)

し、それぞれの特性を活かしながら、地域住民の生活全体を支えるための新たな組織「地区協議会」が設立されました。今後はこの取り組みを市内全域に拡大し、協働による地域社会づくりを更に推し進めてまいります。

また「回地再生プロジェクト」では、木曾山崎団地地区において、町田消防署の移転先である旧緑ヶ丘小学校の解体工事に着手します。旧本町田西小学校及び旧本町田中学校の跡地においては、私立学校を誘致するための公募を行います。

「町田駅周辺のプロジェクト」では本年3月に「町田市中心市街地整備構想」を取りまとめました。今後は具体的な整備内容を示した中心市街地全体の整備計画を策定します。

また、町田駅周辺の新たな賑わいを創出する中心的な存在となる、文化芸術ホールを整備に向け「文化芸術によるまちづくり座談会」を開催し、施設のあり方を検討いたします。

「みどりのプロジェクト」では、薬師池公園周辺及び、七国山周辺地域の魅力向上に向け、地域全体としての魅力アップを図るために、各施設が連携し、観光・レクリエーションの資源としての魅力を一体的に発信する新たな拠点施設整備に向けた基本計画を策定します。

「資源循環型施設」2020年度開設に向け、新たな資源循環型施設の整備を着実に進めます。

新たな施設の整備内容や周辺のまちづくりについては、地区連絡会において、市民協働を進めてまいります。

また、鶴間地区にあるごみ収集運搬の中継基地「リレーセンターみなみ」については、2年後に容器包装プラスチックの分別収集を市内他地域に先行して実施するため、プラスチック中間処理機能の追加のための準備と収集方法の検討を進めてまいります。

集中による効果的・効率的な行政運営を実現してまいります。

「むすびこ」

市政を取り巻く環境が刻々と変化する中、市民の皆様と様々な行政サービスを提供するには、限られた財源で最大の効果を発揮する必要があります。また、町田市が将来にわたり「住みたい」、「訪れたい」、「活動したい」魅力あるまちとして発展し続けるには、20年後、30年後に何が必要になるかをしっかりと見極め、未来への投資が必要となります。

様々な行政課題がある中、町田の未来づくり、未来への投資を行っていくのは平坦な道ではありませんが、町田市民にとって、より良いまちをつくるために、議員各位並びに市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年度の市政運営の視点

2012年12月の第2次安倍内閣発足以来、大胆な金融政策などの効果もあり、行き過ぎた円高の是正や株価の上昇による、企業業績の回復や、賃金・雇用環境の改善など我が国の経済指標は改善してきました。しかしながら、景気の回復の実感が市民の皆様幅広く行き渡っている状況ではありません。

町田市の財政に目を転じますと、リーマンショック前の2007年度と2014年度を比べると市税収入は3%の減となっております。一方

で、生活保護費などの扶助費は74%増と大きく伸びており、歳出全体の3割に達しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計による町田市の高齢者人口は、2010年から2040年には約1.5倍に増加することが見込まれており、今後も社会保障関係費は増加し続けることが想定されます。

今後とも生活の質の向上や商業等の活力を維持するためには、課題解決に向けた取り組みを更に推し進める必要があります。

そのためには、種まきをすること、すなわち将来に向けた投資が必要だと考えております。

安心して生活できるまちをつくる

本年4月から町田警察署と共に、中心市街地の悪質なテイスシユ配りなどの一掃に乗り出しました。

高齢者の増加と共に認知症高齢者の増加も予想され、町田市内でも10人に1人が認知症高齢者になると推計されています。高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしを続けられるよう、医師などの専

賑わいのあるまちをつくる

本年5月に市庁舎跡地に整備した芝生広場「町田シバヒロ」において開催されたオープニングイベントには、市内外から多くの方が参加し、新たな賑わいの拠点として順調なスタートを切りました。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会には、東京に世界から多くの観光客が訪れることが見込まれます。町田市のブランド力を高める上で大きな機会、チャンスとなることからキャンプ地としての招致活動に、全庁を挙げて取り組んでまいります。

行政経営改革

町田市では全国の市町村に先駆けて、複式簿記・発主主義による新公会計制度を導入し、本年2月には、日本経済新聞社の「全国市区の経営革新度調査」において、784市区の中で、総合第10位の評価をいただきました。

2014年度は、この取り組みを更に推し進め、選択と